

# 事業別活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科目	事業区分 指定管理 (収益事業)	自主事業 (非営利事業)	事業計	管理 (非営利事業)	合計
<b>I 経常収益</b>					
1. 受取会費	0	0	0	120,000	120,000
2. 受取寄付金	0	0	0	1,813	1,813
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0
4. 事業収益					
自主事業収益	1,169,430	55,998	1,225,428		1,225,428
受託事業収益	26,990,620	0	26,990,620		26,990,620
事業収益計	28,160,050	55,998	28,216,048	0	28,216,048
5. その他収益	151	0	151	0	151
経常収益計	28,160,201	55,998	28,216,199	121,813	28,338,012
<b>II 経常費用</b>					
(1) 人件費	22,249,037	0	22,249,037	60,000	22,309,037
(2) その他経費	4,056,801	67,048	4,123,849	159,704	4,283,553
経常費用計	26,305,838	67,048	26,372,886	219,704	26,592,590
当期経常増減額	1,854,363	△ 11,050	1,843,313	△ 97,891	1,745,422
<b>III 経常外収益</b>					
経常外収益計	0	0	0	0	0
<b>IV 経常外費用</b>					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	1,854,363	△ 11,050	1,843,313	△ 97,891	1,745,422
			前期繰越正味財産額		9,806,577
			次期繰越正味財産額		11,551,999

※当該年度は、その他の事業は実施していません。

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

科目	金額 (円)
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産合計	14,817,082
資産合計	14,817,082
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債合計	3,265,083
負債合計	3,265,083
<b>III 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	9,806,577
当期正味財産増減額	1,745,422
正味財産合計	11,551,999
負債及び正味財産合計	14,817,082

## 2019年度の役員構成

理事長：長谷川 美津代

副理事長：鍵谷 誠一

理事：片岡 誠（事務局長）、筏 隆臣、  
金指 弘、上村 有里、高畠 耕一郎、  
春貴 勇力、半崎 智恵美、宮村 佳子、  
柳瀬 真佐子

監事：児島 伸幸、下村 敬三



# ANNUAL REPORT 2019



## 年次報告書

■当法人が目指す様々な世代や市民が自らの力で生み出す「市民自治」を前提とする社会は、人々が協働して支え合う活気ある社会で、市民一人一人が平等に社会に参加できる仕組みが必要である。それを構築するために、2015年度から4つのプロジェクトを有機的につなげ、吹田市の「市民自治」の見える化に取り組んできた。

■そのひとつである市民がお互いに支え合う社会の実現を目指すラコルタの管理運営の受託も8年となる。吹田市が2020年4月1日中核市になり、成熟したまちを目指して更に地域課題に取り組む市民を応援するラコルタの必要性は増している。また、吹田市制施行80周年事業には、当会の多くの理事が関わり、市民主体による全市的な機運の醸成を図った。

■そして、2019年度は5年間の中長期事業方針の最終年度に当たるため、時代の変化を踏まえた新しい次期中長期戦略の検討に取り組んだ。まず、議論の出発点として、市民社会セクターの過去・現状・未来について共通の認識を得ることと先進事例から学ぶことをねらいとして2回の学習会を実施した。その上で、当法人のミッションの再確認を行った。

NPO法人市民ネットすいた

Civil Network Suita

# 指定管理事業 (ラコルタの運営)

ラコルタは、市民公益活動を支援するセンターとして、吹田市内のボランティアや市民活動をしている人だけでなく多くの地域住民、行政、他市のセンターから相談を受ける信頼される場となった。

また、昨年度作成した『地域自治組織運営トリセツ』をもとにして新任自治会役員を対象とした地域諸団体の運営講座を開催した。

さらに、2015年に発行した民間同士の協働事例集「協働コラボ de ブラボ！」に続く、行政職員の協働の手引きとなる『あなたの現場が10倍楽しくなる公民協働術』を作成した。



地域人材育成を目的に第6期となる「eN カレッジすいた」を実施した。今期はカリキュラム構成を見直し、全6回から全8回と回数を増やし、学んだことを形ある成果にする取り組みとして「テーマカフェ」の企画づくりにチャレンジした。



新事業「みんなの SUITA DAY」開催に向けて、実行委員会をつくり、市民参加型で取り組んだ。千里NTプラザや南千里駅前公共広場にて、3月にイベントを実施予定であったが、COVID-19のため延期となった。今後、2021年度開催に向けて準備を再開する予定。



『あなたの現場が10倍楽しくなる公民協働術』は、市民（民）と行政（公）の協働＝公民協働に焦点を絞り、協働を負担に感じるのではなく、無理なく、楽しく、まちづくりを進めていくための手引きとして作成。

# 自主事業

## ●各諸団体・NPO 組織との連携

本会理事が多くの自治体や団体の審議委員・評議委員として活動した。

- ・公益財団法人吹田市文化振興事業団 評議員
- ・NPO 法人吹田歴史文化のまちづくり協議会 評議委員
- ・吹田市高齢者生活支援体制整備協議会 委員
- ・吹田市行政評価委員会 委員
- ・大阪市民活動総合支援事業業務委託先事業者審査会議 委員
- ・大阪市西淀川区における新たな地域コミュニティ支援事業 業務選定委員
- ・都島区民まつり、都島区まちづくりセンター運営事業 選定委員
- ・港区コミュニティ育成支援事業、新たな地域コミュニティ支援事業 事業者選定委員
- ・吹田市シティプロモーションアドバイザー会議 委員
- ・吹田市制施行 80 周年プロジェクト会議 委員



吹田市制施行 80 周年ロゴ

## ●「栄えるカフェIN吹田」の運営

JR 吹田駅前のファミリーマート吹田栄通り商店会店 2 階のイートインスペースを市民公益活動に関わる団体が活用できるようコーディネート継続した。団体利用登録すれば、無料で使用できる。



## ●市民ファンドの事業化

昨年度北摂地域市民活動支援センター交流会で提示した素案を元に、市民ファンドの基盤づくりのための「市民ファンド創造プログラム」に応募したが落選した。

そこで、補助先団体の活動に寄り添う支援体制で、補助金の原資を個人からの遺贈や寄付金だけでなく、活動を停止した団体の残余金の寄付も受け入れる案に改訂して、高槻・箕面・茨木・池田・豊中の支援センターと協働して具体的な制度検討に入ったが、当面、COVID-19 の感染拡大に対応した補助金事業としてスタートする。

## ●市民参加型生涯学習事業

市民参加型の新しい学びの場である「キタオオサカ大学」プロジェクトのコーディネートを継続した。

2014 年度から展開しているオープンカレッジは、「みんなの SUITDAY」と同時開催する予定であったが、COVID-19 のため中止した。



キタオオサカ大学ロゴ&イメージキャラ